

紹介します

地域おこし協力隊

2人の

市内の観光情報を発信 富田さん

富田さんは地域おこし協力隊員として、積極的な観光情報の発信など、大田市の観光振興に取り組んでいます。

今年度は——

- ホームページやSNS（フェイスブック等）を活用した情報発信
- 市外イベント等における観光PR（浜松市、大阪市、神戸市、広島市ほか）
- 大田市マスコットキャラクターらとちゃんの活用（ゆるキャラグランプリほか）

——など、大田市の魅力をPRしてきました。

これからも市内各地をまわり、富田さんは情報を集め全国に発信していきます。隠れた観光スポットや地域の話など、皆さんからの情報提供をお待ちしています。



▲浜松市での「ゆるキャラグランプリ」。ステージで大田市と「らとちゃん」をPR

富田真央さん (21)

愛知県豊明市出身。（一社）大田市観光協会にて観光情報発信や観光イベントの企画運営や支援等に従事しています。



大田市にある世界遺産や国立公園、海、温泉……どれも私の地元にはありません。ここには他の地域にはない観光資源があります。

世界遺産はもちろん、愛知に住んでいたならなかなか味わえない日本海の海の幸や石見神楽など、自慢できるものがたくさんあります。

地元の友達に「島根ってどこ？」とよく聞かれます。そんな人にこそ大田市の魅力を知ってほしいと思います。これからも応援よろしくお願ひします！

大田市では昨年4月から、地域おこし協力隊制度を導入。現在、2人の若者が地域の魅力アップや情報発信に取り組んでいます。



▲休日返上で農業実習——自走式の草刈り機を体験。竹内さんは富山町で定住したいと考えています。

富山町の魅力アップに熱意 竹内さん

富山町の活性化のお手伝いをしたいと、この町に住んでいる地域おこし協力隊員の竹内さん。持ち前の人懐っこさで地域に溶けこみ、イベントの企画・運営など地域で活躍しています。

そして、ひとりでも多くの人に富山町を訪れてもらうため、地元の若者たちと「とみやま探検隊」を立ち上げ、地域の名所をまわるバスツアーを実施したほか、観光マップやプロモーションビデオをつくりました。このほか、フェイスブックで地域の話や魅力を全国に発信——たくさんのファンを獲得しています。

農業・林業体験をはじめ、いろいろなことにチャレンジし地域の可能性を模索中。今後は、空き家を利用した交流イベントの開催にも取り組みたいと夢を膨らませています。

私が富山町に住むことを決めたのは、棚田が丁寧に管理されていて景観が美しい点や、人々の温かさにひかれてのことでした。

そして、実際に住んでみると、町のかた一人ひとりの笑顔がとても魅力的で、ますます富山町を好きになりました。

これからもイベントや交流事業を通じて、景観の素晴らしさや豊かな自然の恵み、富山町のお米や野菜の美味しさを多くのかたに知ってもらえるよう取り組みたいと考えています。

竹内恒治さん (33)

兵庫県赤穂市から富山町に。地域の魅力アップに向け、交流イベントの企画運営や情報発信に従事しています。

